

知的資産経営[IAbM]エヴァンジェリスト育成実践コース カリキュラム概要

日程	テーマ	コース概要
6月16日 (土)	知的資産の基礎概念と歴史的背景	<p>【講義】</p> <p>①MERITUMプロジェクト発足の背景 ネオアメリカン型資本主義とライン型資本主義</p> <p>②MERITUMガイドラインの概要 持たざるものが持てるものにいかに挑戦するか</p> <p>③日本における知的資産経営導入の流れ 知的資産から見た日本型経営(戦略合理と資産合理)</p> <p>④独自性こそ中小企業の強み 中小企業は大企業に比べて生産性が低いという傾向がある？</p> <p>⑤創業者支援のための知的資産経営 「リレーションシップバンキングは地域経済活性化の柱」</p> <p>【ワーク・発表】</p> <p>○創業者支援のためのビジネスプラン構築 「事業価値を高める経営レポート(創業版)」によるワーク</p>
	診断士として独立してからの稼ぎ方(講師自身の体験に基づいて)	<p>【講義】</p> <p>①講師自身の仕事の現状 仕事内容と現状分析</p> <p>②診断士開業からの仕事の探し方 支援機関の専門家公募情報を検索→専門家登録</p> <p>③営業方法？ 営業しても仕事は取れない→仕事の報酬が仕事</p> <p>④稼ぎの決め手はスキルではない！ 支援先の仕事内容の発展・リピートの事例</p> <p>⑤個人の「知的資産」の分析方法 講師の「人的資産」「構造資産」「関係資産」の事例</p>
	「知的資産経営報告書」等の事例研究と作成方法の概要	<p>【講義】</p> <p>①ジュエリー卸売業者の知的資産経営報告書の事例 老舗企業の再生に向けた事業の刷新と改革に関する報告書</p> <p>②経済産業省が開示する最新の知的資産経営報告書の事例 知的資産ポータルが開示する最新の事例研究</p> <p>【ワーク・発表】</p> <p>①自分自身の知的資産を分析する 自分が現在持っている知的資産とアクティビティを可視化するワーク</p> <p>②自分自身の知的資産経営報告書を作成する 「事業価値を高める経営レポート」をベースに知的資産経営報告書を作成するワーク</p>
7月7日 (土)	知的資産を活用した事業計画策定の実例	<p>【講義】</p> <p>従来の財務的アプローチで策定する事業計画書では、知的資産に代表される非財務資産の価値算定が抜け落ちるリスクがある。この従来の方法の欠点を克服し、「目に見えにくい」資産を事業計画に盛り込む手法を学ぶ。</p> <p>【ワーク・発表】</p> <p>①事業計画書全体の組立と実際の記載例を理解してもらう。 ②内部環境分析・行動計画立案の考え方(価値創造ストーリー)を通して知的資産経営のコンセプトを体験する。</p>
	知的資産を経営資源とする資金調達の方法について	<p>【講義】</p> <p>①近年の金融事情を踏まえ、知的資産・事業性に着目して資金供給者を説得できる資金調達を組み立てを考える</p> <p>②事業性評価と知的資産経営を踏まえた資金用途の設定</p> <p>③事業採算と適切な財務表現による対資金供給者説得の方法</p> <p>④資金調達上のリスクとその対策</p> <p>⑤資金調達条件の設定と相応しい調達手段の選択</p> <p>【ワーク・発表】</p> <p>①架空事例で試す設備・運転資金の調達条件設定と必要調達資金量の試算など</p> <p>②環境条件から行う金利動向予測</p>
8月4日 (土)	内部統制2.0～中小企業診断士のキャリアパス	<p>【講義】</p> <p>①組織における理念体系の基礎(経営理念→ブランドステートメント→行動指針→規定類)</p> <p>②日本版COSOモデルの導入方法</p> <p>③カンパニーセクレタリー制度をめぐる国内の動き</p> <p>【ワーク・発表】</p> <p>①内部統制2.0～中小企業診断士としてのサービスマップづくり</p> <p>②サービスマップとキャリアパスの紹介</p>
	知財担当者や弁理士がいう『知財戦略』をきいてはいけない～経営戦略に役立つ知的財産や知識をどう企業の資産にするか	<p>【講義】</p> <p>知的資産のうち人的資産である「顧客からの信用」「ノウハウ・スキル」は、企業が直接に支配できる資産ではない。これらを商標権・特許権などの知的財産権という企業の構造資産に成長させるのが、経営からみた実践的知財戦略であり、その方法論を具体例を通して学ぶ。</p> <p>【ワーク・発表】</p> <p>①特許: 携帯電話のシェア推移の理由</p> <p>②商標: 豆乳や電池のネーミング変更は何のため？</p> <p>③著作権: 情報雑誌はどうマネタイズしていくか</p>
9月8日 (土)	知的資産を守るための経営法務の実践について	<p>【講義】</p> <p>知的資産は法的な権利化が難しい無形資産である。財務体質の弱い中小企業が知的資産を防御するには、どのような経営法務が必要となるかを事例を通して学ぶ。</p>
	中小企業のレピュテーションリスクについて	<p>【講義】</p> <p>非財務資産が重要な価値を持つ中小企業にとって、「評判」、「風説」あるいは「風評」という最も目に見えにくい価値が業績を大きく左右する要因となり得る。こういった中小企業が抱える「レピュテーションリスク」について事例を挙げながら解説し、その対処方法やマネジメントについて学ぶ。</p>
	顧問先の不祥事に対する信頼回復のシナリオを考える	<p>【ワーク・発表】</p> <p>○顧問先の企業が対外的な不祥事を起こしたケースを想定し、その補償と信頼回復の具体的なシナリオを考える。</p>

日程	テーマ	コース概要
10月6日 (土)	本音の引き出し方 - インタビューを通して -	<p>【講義】</p> <p>中小企業の経営者が何を考えているか。本音はどこにあるのか。また、彼ら・彼女らがうまく言語化できていない想いは何なのか。インタビューのやり方を通して、相手の言葉を引き出すテクニックを学ぶ。</p> <p>【ワーク・発表】</p>
	事業再生および事業承継における知的資産活用の事例	<p>【講義】</p> <p>①旅館業における人的資産の増強 倒産4法の概要と第二会社型事業再生</p> <p>②医療・福祉向け開発型ベンチャー企業の再生 知的財産権の保全と担保価値</p> <p>③親族内事業承継に向けた中小企業支援 事業承継税制と経営承継円滑化法</p> <p>【ワーク・発表】</p> <p>○再建計画および事業承継計画の骨子作成 上記3事例に基づく戦略構築のためのグループワーク</p>
11月3日 (土)	知的資産を増強する地域資源を活用した商品・サービス創りの手順を学ぶ	<p>【講義】</p> <p>経営資源が不足する中小企業にとって、人的資源を大切に育成することが重要課題である。人が持つ強みと弱みを合わせたチームづくり、外部組織との連携をすすめる。自分の持つ資質を把握する(簡易診断)をしていただき、その術を体得していただく。</p>
	欲しい地域の資源を探索する・知的資産を組合せる「事業連携」のすすめ	<p>【講義】</p> <p>地域が持つ特有の資源 ①自然環境、②歴史文化、③産業観光 を活用した知的資産づくりを共有のテーマとした事業連携をすすめる。地域活性化をすすめる施策及び中小企業が実践する活用事例をレクチャーする。推進するプロデューサーの人的資産づくりが要となる。</p> <p>【ワーク・発表】</p> <p>①受講者に取組みたい魅力的地域資源を発表、エントリーする。 ②ワークを重ね、地域が持つ知的資産を活性化し、増強する運用プロデューサーとして活躍していただきたい。その業務手順を学ぶ。 ③ワーク3回+まとめ(発表)=4回のワークを 講義の中にプログラム化する。</p> <p>■想定(案)</p> <p>1.step:地域が持つ魅力的事業資源を抽出。そのフォーマットを提供。 2.step:地域資源をブランド資産化した商品・サービス化シートを作成。 3.step:計画化した商品・サービスを市場に参入する事業連携組織体进行を設計。 4.step:上記の計画(案)を検証。足りない資源を点検、協議。</p>
12月8日 (土)	マーケットが内包する知的資産の活用方法について	<p>【講義】</p> <p>ロンドンのマーケットと日本の商店街あるいは市場との実態の違いを明らかにし、既存の商店街の持つ知的資産に着目したまちづくりの可能性を探る。</p>
	マーケットからまちを変える！	<p>【講義】</p> <p>英国を始めとする海外ではマーケットの概念が日本とは根本的に異なっている。まちづくりの機能的側面からマーケットの知的資産的価値に迫り、日本国内における適用事例を学ぶ。</p>
	知的資産を活用したまちづくりの活性化への提言	<p>【ワーク・発表】</p> <p>○既存の商店街の持つ知的資産を洗い出し、海外におけるマーケットの機能的側面を考慮したまちづくりの活性化の提言を行う。</p>
1月12日 (土)	沿岸都市に過度に集中してしまった人口を地方/里山に再分散する革新的技術の社会への浸透	<p>【講義】</p> <p>特許を取得した革新的な住宅建築技術である「環状プラットフォーム」は、日本における住生活に夢を与え、住宅の機能・安全性・経済効率・エコロジー性等を格段に向上させ、国土利用が合理的になる。この技術を世に知らしめ、普及させることが課題である。</p> <p>【ワーク・発表】</p> <p>○さまざまな課題を抱える地域に対して、環状プラットフォームの技術がどのようなソリューションを提供できる可能性があるかを考え、提案を行う。</p>
	「ホワイトニング歯磨き粉の製造販売」事業の課題	<p>【講義】</p> <p>現役女性歯科医師自らが開発した、天然由来成分99%オーガニック成分配合で科学的根拠のある着色除去成分を配合した、安全かつ効果の実感できる、無添加&高機能All in oneホワイトニング歯磨き粉、ブランディングと海外を含めた販路開拓が課題である。</p> <p>【ワーク・発表】</p> <p>○競合製品がひしめく市場において、どのようなブランディングと販路開拓を行えば良いかを考え、提案を行う。</p>
2月9日 (土)	第二創業体験談(江戸っ子1号は深海へ)	<p>【講義】</p> <p>①第二創業体験談(株式会社アイソーアイ技研 代表取締役 糸井成夫氏) 江戸っ子1号は深海へ(当社の強み「メカトロ技術」を駆使して)</p> <p>②株式会社イトイの知的資産経営報告書作成事例</p>
	株式会社アイソーアイ技研の知的資産経営報告書の骨子作成	<p>【ワーク・発表】</p> <p>○知的資産経営報告書作成グループワーク</p>
3月9日 (土)	新規事業の課題に対する知的資産経営面での支援の方向性について	<p>【講義】</p> <p>前例のないビジネスを一般に理解させるには知的資産経営のフレームワークの活用が有効である。新規事業の課題に対して知的資産経営の切り口でどのような支援の方向性があるかを学ぶ。</p> <p>【ワーク・発表】</p> <p>○与えられた新規事業のケースに対して、どのような支援の方向性があるかを知的資産経営</p>
	革新的サービスの新規事業の概要と課題について	<p>【講義】</p> <p>衣類の暖かさの単位に「clo値」がある。これは、衣類の熱抵抗を表す値で、衣服の暖かさの目安になる。これをビジネスに応用することで、世界に類を見ない革新的サービスを開発しようとする企業経営者から、その事業の概要と課題について事例を通して学ぶ。</p> <p>【ワーク・発表】</p> <p>○新規事業の革新的サービスが持つ多様な可能性について考え、各々の可能性についてどのような形で事業化を進めれば良いかの提案を行う。</p>